

べっかい 議会だより



70

小学生に野菜の種まきを指導する別海高校生（ベジタベ〜る交流会より）

特集

| | |
|----------------------------|---|
| 議会活性化策が報告される | 2 |
| がんばる地域交付金事業に1億7000万円 | 4 |
| 議員定数18名から16名に | 6 |
| 町政のここが聞きたい | 7 |
| 一般質問（中村・木嶋・瀧川の3議員） | |

シリーズ 志を受け継ぐ 別海高等学校教諭 おおむら 大村 りゅうじ 竜二さん …16



2014.8.1
北海道別海町議会

が報告される

定例会最終日の6月20日に、通算19回にわたり開催した議員定数等調査特別委員会（佐藤初雄委員長）から最終報告がありました。

調査の結果、議員定数については賛成多数をもって18名から16名へ削減、議員報酬の増についても賛成多数、議会広報・広聴常任委員会化が提案されました。議会活性化については、項目が多岐にわたることから、議論の中身を13に絞り、直ちに取り組むことと、時間をかけて取り組むことに分けて報告がありました。

議員定数削減 (18名↓16名)

行政面積や人口および予算規模などの総合的な見地から、類似自治体の議員定数を照らし合わせた判断基準を設けて、具体的な定数を導き出しました。

町民感情に配慮し議論を進め、人口減が顕著であること。現改選期には選挙がなかったこと。町職員も削減を行っていること。現在の体制が1名減であることなどの理由から削減する意見が大勢を占めました。

一方、広い行政区域であることから、定数は現状維持とすべき。定数を決定するにあたって、人口の類似自治体と単純に比較するべきではない。町民の意見が必ずしも定数削減ではない。議会のチェック機能を強化するため

定数を削減すべきではない。定数減による常任委員会の構成数を減らすべきではないなどの意見もありました。その後、条例改正の発議が行われ、議員定数は18名から16名に決定されました。

(関連記事6頁)

議員報酬を増額

議員報酬については、議員活動の役割に対する対価であるというところを基本として考え、全道の状況、全国の先駆的取り組み事例の調査や検討を行いました。

特に、議員活動日数を基本とした積算方式、全道の人口や面積および予算規模、くわえて全国の町村議員報酬による比較方式を用いて検討を行いました。

1点目として、将来若い人が議員として出られる環境づくりが必

■現行の議員報酬と特別委員会の報酬案

| | 現行(円) | 委員会案(円) | 増減率 |
|-----|---------|---------|------|
| 議長 | 306,000 | 306,000 | - |
| 副議長 | 245,000 | 246,000 | 0.5% |
| 委員長 | 219,000 | 234,000 | 7% |
| 議員 | 193,000 | 222,000 | 15% |

要であること。2点目として、議員活動が複雑化しているにもかかわらず、議員報酬は10年間で上がっていないこと。3点目として、全道的に見て一般議員の報酬が平均以下であることなどの理由から、議員報酬は議長を除き、引き上げる提案があり

当町の規範である自治基本条例にも情報の共有化が明確に位置付けられていること。また、議会の情報公開や町民参加を具現化する必要があること。このことから議会広報紙の編集や、広聴の実施および調査研究に関することを所管する常任委員会として位置付けが必要であるとの判断に至り、「議会広報・広聴常任委員会」として常任委員会化する提案がありました。今後、条例改正について議会で検討することになります。

広報・広聴常任委員会化

ました。今後、別海町特別職報酬等審議委員会に諮問され最終決定されます。

開かれた議会を目指して

議会活性化策

直ちに 取り組むこと



議会活性化の先進地である芽室町議会を視察する議員定数等調査特別委員会

- ① 議会報告会の複数回化については、次回から検討する。
- ② 議会モニターについては、議会の運営に関し、町民からの要望・提言などを広く取り入れ議会を活性化させるために、導入を検討する。
- ③ 議会開催予定日の周知については、町の広報紙や新聞などを利用して周知する仕

時間をかけて 取り組むこと

- ④ 議員相互間の自由討議については、まず各常任委員会から導入し、委員会の前後において自由討議時間を設け、論点を明確にして委員会のまとめを行うという仕組みづくりを直ちにを行う。
- ⑤ 正副議長選挙の所信表明会を実施し、選出過程を透明化する。
- ① 一般質問答弁の事前配付については議会の意思統一や調整、一般質問の研修を行った後、改めて議論する。
- ② 町民との意見交換会については、議会で研修会などを行い、議会の体制を整備した後に取り組む。
- ③ 会期の通年制につい

- ④ 議会ICTの導入については、情報端末などの機器の利用技術の講習などを経て、次期改選時に改めて検討する。
- ⑤ 議会基本条例の制定については、議会活性化の項目一つひとつが議会基本条例の内容となるので、時間をかけて制定に向けて協議する。
- ⑥ 政務活動費については、導入は尚早であるなどの意見があり、必要性は認めるものの今後継続して協議・検討する。
- ⑦ 議会サポーターの導入については、専門知識を持った大学教授などの協力が必要となることから、具体的な提言の設定や

- 費用の問題など、協議・検討する。
- ⑧ 議会事務局の体制強化については、法務担当職員の配置など再度協議する。
- 以上の項目が提案され、今後は議会で協議・検討していくことになります。



今後も議会の活性化を検討していくことが確認された（26年6月定例会終了時撮影）

がんばる地域交付金 1億7069万円

一般会計の補正予算は、国から経済の好循環を目的とした地域活性化・効果実感臨時交付金、いわゆる「がんばる地域交付金」を受けて、町道維持補修事業など4事業を追加し、省エネ防犯灯整備事業など5つの新規事業に補正をしました。



新しく建替えられ快適な生活空間になった公営住宅

公営住宅等整備事業

金額 4140万円

未整備だった西春別駅前柏団地の外構工事が行われます。



舗装され砂ぼこりから開放される町道

臨時町道整備事業

金額 1億4617万円

本別海市街東線外4路線の改良工事。



身近なところから省エネを

省エネ防犯灯整備事業

金額 2360万円

尾岱沼連合町内会。省エネのため防犯灯をLED電球に切り替えます。



有効利用されている旧光進小中学校教員住宅

旧光進小中学校校舎利活用事業

金額 589万円

旧職員住宅3棟および体育館補修など。



横になったままでも安心して入浴できる特殊浴槽

西春別ケアセンター整備事業

金額 740万円

特殊浴槽が古くなったため入れ替えを行います。



改修が少しずつ進む町営野球場

町営野球場整備事業

金額 2480万円

古くなったスコアボードなどの改修事業やグラウンド改良。

その他の主な事業

水産加工・流通施設改修事業（野付漁協）金額 2820万円
 （加工原料の汚染防止のため原料保管庫の改修などが行われます）

地域会館整備事業金額 2570万円
 （豊原会館・開南会館耐震改修、恩根内会館・春日会館トイレ改修ほか）

畜産環境施設整備事業金額 1400万円
 （雑排水施設整備費補助 56戸）

地域情報通信施設整備事業金額 321万円
 （高速無線通信アンテナ増設工事、別海～中西別間）

第2回 定例会

6月17日～20日開催

第2回定例会は、6月17日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

条例を一部改正しました

◆国民健康保険条例

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を現行の77万円から81万円に引き上げたこと、世帯の軽減判定所得基準の見直しにより、軽減対象が拡大されたため条例を改正しました。

◆地域情報通信施設

例 高速無線LAN※の基地局通信設備が追加となったことから改めました。

工事請負契約の締結を承認しました

◆上春別団地公営住宅建設建築主体工事

金額6004万円。

◆上春別中学校校舎・屋内体育館改修工事

金額8942万円。

◆上春別小学校校舎・屋内体育館改修工事

金額8618万円。

◆尾岱沼消防施設建設建築主体工事

金額2億2420万円。

◆尾岱沼消防施設建設電気設備工事

金額7376万円。



利用者増に対応するため一部設備が追加された



経年劣化により全面的に改修される上春別中学校



中学校と同様に校舎と屋内体育館の改修が行われる上春別小学校

※無線LAN
光回線やADSLの不
通地域を解消するた
め、無線を利用し高
速通信化すること。

◆尾岱沼消防施設建設機械設備工事

金額7624万円。

以上の工事はすべて簡易公募型指名競争入札により落札されました。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

3地区について平成26年度から平成30年度までの5年間の整備計画を策定しました。

- ①中春別辺地 (2億626万円)・橋りょう・産業農林道(富岡南地区)・下水道
- ②中西別辺地 (7億2415万円)・交通道路(中西別上風連線・根室中部3号)
- ③上春別辺地 (7億8530万円)・橋りょう・産業



ひび割れを補修し、塗装を塗り替える第1床丹橋

農林道(上春別北地区・南1号地区・上春別第2地区)・下水道
交通量の増大、大型農作業機械の通行に対処のため計画的に橋りょうの補修を実施し延命を図ります。
また、大型農業機械の通行、生産物の搬出に対応するために改良・舗装を行います。

議員定数18名から16名に

(次回改選から)

◆議員の定数を改正する条例

提出者 戸田 博義 議員
他4人

別海町議会の議員の定数を18名から16名に改めました。

別海町議会の議員の定数条例についての討論

(賛成13名 反対3名)

反対 中村忠士議員

第一に、当町の面積、集落の数、予算規模などを考慮すると、単純に人口や社会的趨勢で議員定数の比較検討をすべきではありません。

第二に、現在設置されている3つの常任委員会において、多様な側面から深く審議し、可能な限り正確な方向性を出していくためには、6人の委員が必要です。

第三に、昨年行った「議会報告会」では議会として、「町内隅々の町民の意見を聞くためにも減らすべきではない」などの声が多くあり、「減らすべきである」という声を上回っていました。

賛成 安田輝男議員

今回の特別委員会の協議内容については、町民の求める議会の役割に応えるため、議会活性化に関する様々な議論をしたことがうかがえます。

また、議員全員の意向も知る必要があるとの判断から、アンケート調査も行い、特別委員会のみならず全議員の意見を確認した中身の濃い内容です。

当町の人口減が進んでいることや、町職員も削減を行っていること、および町民感情に配慮したなどの理由から、削減することは十分理解できます。今回の提案は、将来を見据えたものです。

国に意見書を提出しました

3件の意見書が提出され2件は全会一致で可決。特定秘密保護法の慎重な運用を求める意見書は、賛成多数で可決した。

◆「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書

提出者 福祉医療常任委員会
委員長 小林 敏之

「障がい者権利条約」では言語として非音声言語も定義された。

「手話を獲得する」「手話で学ぶ」権利を保障するために、「手話言語法(仮称)」を制定する必要があることを求める。

◆規制改革会議意見書の取り扱いに関する意見書

提出者 産業建設常任委員会
委員長 安部 政博

「農林水産業・地域の

活力創造プラン」改訂にあたっては、農業者の所得向上、食料供給の安定確保、農地の適正利用に資する観点から、意見書を取り扱うことを求める。

◆特定秘密保護法の慎重な運用を求める意見書

提出者 松原 政勝 議員
他4人

政府は国民多数の不安の声がある中、特定秘密保護法を成立させた。国民の生命・財産を守る上での秘密事項指定の必要性を否定するものではないが、国民の知る権利の阻害、特定秘密の対象の範囲が広く曖昧であり、基準が不明瞭であることから、常識を超えた適用がなされる懸念がある。国においては民意を尊重し限度を超えた情報隠しが出来ない制度の構築に努めるなど、

特定秘密保護法を慎重に運用するよう強く要請する。

特定秘密保護法の慎重な運用についての討論

(賛成14名 反対2名)

反対 今西和雄議員

特定秘密保護法は、我が国にとって大事な法律と理解しています。指摘される懸念については、当議会ですっかり議論すべきです。それをもって、より具体的な事例を盛り込んだ意見書とすべきです。よって提出は時宜尚早の立場から反対します。

賛成 戸田博義議員

特定秘密保護法は昨年12月6日に臨時国会で成立していますが、国民が心配する法の内容については、慎重に精査し、運用しなければならぬ重要なものがあり、本意見書に賛成します。

町政の ここが聞きたい

第2回定例会では2日目(6月18日)に3議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。
詳しい議事録は町のホームページに掲載しています。

■中村 忠士 議員……………8

- 1 経営基盤を安定させ、離農をくいとめるために
- 2 産業連携会議の創設をどう進めるか
- 3 期日前投票場を複数個所にできないか

■木嶋 悦寛 議員……………9

- 1 直接搬送による救急搬送体制の充実を
- 2 日露コクガン調査、町の関わり方は

■瀧川 榮子 議員……………10

- 1 介護保険制度見直しでの影響は
- 2 子ども・子育て新制度に向けた取り組みは

議会広報モニターインタビュー

一般質問を傍聴に訪れた議会広報モニターの皆さんにお話を伺いました。
【お話を伺った皆様】桜井理さん、森田悦子さん、今井真人さん

広 報… 傍聴された感想は？

桜 井… 傍聴には決まった人しか来ません。モニター以外の町民の意識も大切だと感じます。開催日を知らない人が多いのでは。

森 田… 議会が開催されていることがわかっていても来る気になりませんでした。自由に傍聴できることも知りませんでした。

今 井… 初めて議場に入りました。議員定数は価値観の多様性に応えるために維持すべきだと思います。町政は、他町と横並びで思い入れが感じられません。40年前、農家を始めたころのこの地には豊かな自然があり、多くの動物や昆虫がいました。道路がきれいになるなどインフラが整備されてくると、動物も昆虫もいなくなり、農家もいなくなりました。だんだん仲間が減ってきたのです。この世界をむしろんできたものからシフトすべきです。



桜井 理さん



森田悦子さん



今井真人さん

広 報… 議会だよりの感想は？

桜 井… 表紙も含めいいと思います。難しい言葉には解説をお願いします。

森 田… 20人ほどの友人に聞くと皆見ていました。表紙や裏表紙はいいと思いますが、議員紹介などもっとくだけた内容もいいのではないのでしょうか。モニター制度や議員のことを知らない人もいます。町民からの声として、投稿なども載せてみてはどうでしょうか。

中村忠士議員



中村議員
**経営基盤を安定させ、
 離農をくいとめるために**

町長 強い酪農畜産体質に変える、
 これが喫緊の課題

質問
 平成25年度は酪農家
 25戸が離農した。離農
 の原因は。

有田産業振興部長
 後継者不在が12戸、
 経営不安・不振が7戸、
 事故・病気が6戸。

年齢的な問題もある
 が、酪農をとりまく情
 勢が厳しい中で、将来
 への不安が大きな要因
 になっている。

質問

町内の農協の資料で、
 出荷乳量と所得率の相
 関関係を調べてみた。
 出荷乳量が少なくなる
 に従って所得率も所得
 額も高くなる。逆に言
 うとたくさん搾ってい
 るが残るお金は少ない
 という傾向がある。
 安定した経営基盤と
 いう観点から、この現
 実をどう考えるか。

水沼町長

大規模になるに従っ
 て所得率が低すぎるの
 ではないかという懸念
 もある。

自給飼料への依存率
 を高めるなどコスト低
 減を図り、国際的影響
 を受けない、強い酪農
 畜産体質に変えていく、
 これが喫緊の課題だ。

質問

新規就農・経営継承
 支援事業の適用範囲が
 今年度から広がった。
 事業の周知、活用促
 進を積極的に進めるべ
 きと思うが。

中村議員
**産業連携会議の創設を
 どう進めるか**

町長 審議会・検討会議が産業間連携の
 枠組みになっている



町の補助制度を活用し建設中のエコ住宅

質問

昨年、別海町中小企
 業振興行動指針が定め
 られ、「域内循環の推進」
 がうたわれている。

すでに町は中小企業
 支援事業（エコ住宅補

有田産業振興部長

青年就農給付金事業
 の要項が改正され、親
 元に就農または就農後
 5年以内に経営を継承
 する場合も対象となる。
 ホームページやパン
 フ配布で周知している。

助)を実施しているが、
 これを軽微な補修を含
 めた「住宅リフォーム」
 や、牛舎など農業施設
 などのリフォーム補助
 に拡大できないか。

水沼町長

住宅バリアフリー補
 助ということでは、福

社政策として検討して
 いくことはあり得る。

質問

行動指針に、分野を
 超えた連携体制の構築、
 具体的には「産業連携会
 議の創設を目指す」と
 なっているが。

水沼町長

振興策を評価・検討
 する審議会や協議する
 検討会議がつけられ、
 これが産業間連携の枠
 組みになっている。
 今すぐ連携会議を創
 設する考えはない。

中村議員
**期日前投票場を
 複数個所にできないか**

選管書記長 成りすまし投票防止など
 十分な検討が必要

質問

東公民館と西春別ふ
 れあいセンターの投票
 終了時刻を午後8時か
 ら7時に1時間くりあ
 げるという話がある。

質問

期日前投票場は全町
 で1か所だが、これを
 複数か所にできないか。

佐藤選管委員会書記長

成りすまし投票の防
 止や選挙システムの運
 用など、十分な検討が
 必要になる。

木嶋悦寛議員



質問
救急要請の中で、脳卒中と心筋梗塞は、一刻を争うことから、高次医療病院への直接搬送が有効であると言われている。
オホーツク圏地域の

木嶋議員
直接搬送による救急搬送体制の充実を

町長 検討を進めるよう町としても努力したい

紋別市などで直接搬送の運用が行われており、搬送時間が半分になるなど大きな成果を上げている。

当町も直接搬送により、単に命を救うだけでなく、患者の軽症化になると考えるが。

水沼町長

搬送先については、別海消防署消防計画に定める搬送基準に従って、症状、かかりつけなども考慮しながら、原則的により近い医療機関に搬送することとされている。

ただ、町内の一部地域については、事故状況、疾病の程度により、釧路市への直接搬送も行われている。

現在、道東地区では、平成21年10月からのドクターヘリ運航により、搬送時間の短縮を図り、救命率の向上や後遺症の軽減に努めている。オホーツク圏での直

接搬送については、地域の実情によって違いがあると思う。

質問

ドクターヘリは、夜間や悪天候時など使えない場合がある。一人でも二人でも救える方策を考えるべきではないか。

水沼町長

患者のために、より早く高度医療病院に送り込むことは、当然努力すべき課題である。そういう観点から、今後検討を進めていくことに対し、町としても努力していきたいと思う。

木嶋議員
日露コクガン調査町の関わり方は

産業振興部長
情報を収集し連携を模索したい

質問

野付半島における日露でのコクガン※の調査研究について、別海町としての関わり方の可能性は。

有田産業振興部長

(株)別海町観光開発公社の職員が、平成26年度国後島鳥類調査専門家交流に参加し、稀少



国内でも有数のコクガンの飛来地である野付半島 (写真提供：野付半島ネイチャーセンター)

鳥類の基礎調査として、コクガンの情報の共有、コクガンの中継地の環境を視察し、今後の共同研究の足掛りをつくりたいと聞いている。

今後は、コクガンの調査・研究に関わりのある(株)別海町観光開発公社、あるいはネイチャークラブなどと連携したいと考える。

質問

野付半島は貴重な水鳥の飛来地として注目度が高く、強力な観光資源として打ち出すことができるかと考える。

有田産業振興部長

さらなる情報発信として、本年11月に千葉県我孫子市で開催の国内最大級の鳥をテーマとした「ジヤパンバードフェスティバル」に、町と(株)別海町観光開発公社と協力して初出店する。

※コクガン
(カモ科コクガン属)
全長55〜66cm



写真提供：野付半島ネイチャーセンター

シベリア東部のツンドラで繁殖し、朝鮮半島南部や日本の東北以北へ南下し越冬する。近年の調査では野付半島に6000羽が飛来することが確認されている。国の天然記念物に指定されているが、その生態は不明な点が多く、日露で共同研究の機運が高まっている。

水沼町長

食観光を含めて、町の貴重な観光資源の一つとして、多くの皆さんに認知されるよう、しっかりとPRに取り組んでいきたいと考える。

瀧川榮子議員



介護保険制度 見直しでの影響は

瀧川議員

福祉部長 現在のサービスを低下させない
取り組みが必要

質問
来年度から行われる
介護保険制度見直しの
内容はなにか。

竹中福祉部長

1点目は、予防給付
の見直しで、要支援認
定者へのサービスを、

市町村の事業に段階的
に移行する。

2点目は、特養ホー
ムへの入所基準の見直
しで、原則として新規
入所者を要介護3以上
に限定する。

3点目は利用者負担
の見直しで、一定以上
の所得者の負担を1割
から2割に引き上げる。

4点目は、地域包括
ケアシステムの整備で、
高齢者が住みなれた地
域で暮らし続けられる
よう、医療・介護など
生活支援サービスの充
実強化を目指すという
内容になる。

質問

1割から2割への負
担増は、利用者の生活
の質を落とすことにつ
ながると考えるが。

水沼町長

ありえると考ええるが、
制度を持続可能なもの
にするためには改正が
必要だということだ。

質問

介護保険は社会全体
で介護をということ
で生まれ、強制加入の制
度となっている。

要支援者へのサービ
ス提供が保険からはず
されると、サービス提
供が困難な自治体が多
いとされているが、当
町はどのような状況が
考えられるか。

竹中福祉部長

保険給付費の3%以
内とされる地域支援事
業費の上限を、移行事
業分を賄えるよう見直
すとしているが、上限
を超えた場合、市町村
から持ち出しが生ずる
ことが想定され、市町
村格差が出る懸念され
る。

質問

町として現在のサー
ビスを低下させない取
り組みが必要と考えて
いる。

要支援認定者は介護

保険認定者の30%を越
え、さらに増加傾向が
ある。

町はさらに厳しい状
況になると考えるが。

竹中福祉部長

要支援該当者が増加
しないよう、介護予防
サービスなど充実させ
る努力をしていく。

瀧川議員 子ども・子育て新制度に 向けた取り組みは

町長 アンケートによる
ニーズ調査を実施した



おも植えの説明を熱心に聞く幼稚園児たち

保育園・幼稚園・児童
館関係者・民生児童委
員・行政から関係課長
など12名に委嘱してい
る。

当町の会議では、新
制度移行に伴い、町が
実施する事業について
議論を重ねている。
これらの検討内容が
別海町子ども・子育て
支援事業計画に反映さ
れることになる。

質問
町では、子ども・子
育て会議を発足させた。
検討されている内容
は。

質問

民間の地域型保育も重
要な役割を担うことにな
る。補助が必要では。

竹中福祉部長

地域型保育は、認可
事業とされる予定。
移行可能な施設には、
情報提供など案内をし
ている。

移行については、事
業者の判断となる。

質問

ニーズの把握による、
子ども・子育て支援事
業計画の策定が必要だ。

水沼町長

2000人を対象に
アンケートを実施、ニ
ーズの調査を行っている。
多様な意見を基に計画
策定作業を進めていく。

質問

子ども・子育て会議
の検討内容や、ニーズ
調査の結果の情報公開
が必要だと考えるが、
計画は。

竹中福祉部長

早急に公表できるよ
う作業を進めていく。

議会のうごき

3議員と1委員会 全道表彰を受ける

栄誉をたたえて 自治功労賞受賞

永年にわたり、議員として地方自治の振興・発展に貢献された3名が、北海道町村議会議長会より表彰されました。

議長在職7年以上

渡邊 政吉 議長

議員在職15年以上

佐藤 初雄 議員

中村 忠士 議員

受賞された3議員の益々の活躍を期待します。



議会広報特別委員会の面々 発行責任者を囲んで

一部事務組合・広域連合 臨時会報告

(中標津町議事堂 6月2日)

中標津町外2町 葬斎組合

議案は白樺斎場増設築工事の補正です。

当初の工事請負契約金額に対して、インフレスライド条項※適用による増額補正です。

今年11月の完成に向け順調に工事が進んでいます。

また、規約変更に関するものが2件で、いずれも全会一致で可決しました。

同意事項では、監査委員任期満了に伴い、新たに田村秀男氏(別

海町)が選任され全会一致で同意しました。なお、任期は平成26年7月8日〜平成30年7月7日までです。

根室北部消防事務組合

財産の取得が2件で、消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付水槽車(羅臼消防署)です。他2件は条例と規約改正です。

根室北部廃棄物 処理広域連合

同意事項では、監査

議会報告会企画委員会スタート

今年で5回目を迎える議会報告会を今年度も実施します。開催日時、場所については改めてお知らせ

します。また、内容についても今までの指摘されたことなど充分検討します。

※インフレスライド条項
当初の工事請負契約に基づき、工期内に国内での経済情勢の激変に対して、契約金額の変更を請求できる措置。

委員長 戸田憲悦
副委員長 森本一夫
委員 瀧川榮子
委員 沓澤昌廣
委員 今西和雄
委員 松壽孝雄

平成26年度 第1回北方四島交流訪問事業

(5月22日～26日 国後島)



北方四島交流事業に活用されている「エトピリカ号」

22日は根室市の北方四島交流センター二ホロで結団式を行い、翌朝交流船エトピリカで9時出航が強風のため、20時間の停泊後、24日6時頃に根室港を出港し、国後島に9時頃到着しました。

昼食後、視察した図書館は古く狭い建物でしたが、今年完成した新文化会館は、体育館、客席283席の大ホー

ルに図書館を備えた立派な建物でした。

私のホームビジット先は古釜布の若い夫婦の家で、夫フヨドさん25才、妻クヤブエウアさん23才と子ども二人の4人家族です。

奥さんは、料理が大変上手で、特にギョウザは私たちに合う料理でした。御主人のフヨドさんはゲートボール大会で、芽室、稚内まで来たことがあるそうです。

同訪問した標津の斉藤俊己さんのハーモニカ演奏で子ども達が楽しそうに踊ったことが印象に残っています。島で生まれ育ったロシアの人たちにとって、国後島は故郷だと思います。

お互いに理解を深めながら、平和的な島

返還を祈っています。帰る26日、フヨドさんが港まで見送りに来ていただき、私たちも大変感激しました。短い四島交流訪問でしたが、機会があれば、また参加したいと思えます。(沓澤議員)

第19回東京・別海ふるさと会総会に参加して

(4月19日 東京都)

第19回東京・別海ふるさと会定期総会



歓迎の挨拶をする新家会長

懐かしい顔との再会、今年度の東京・別海ふるさと会は、当町からの20人を含めて120人の参加となり、盛大に開催されました。新家鶴男会長の挨拶に始まり、来賓の水沼町長、名誉会長の作曲家、小六禮次郎氏のスピーチと友好的な中には進行しました。別海ふるさと会は、

根室管内の各ふるさと会との連携も持ちながら「さんま祭」「産直フェア」など積極的に参加して、別海・根室をPRしています。また、「北海道日本ハムファイターズ応援隊」としての活動も行っています。決算報告によると、年間の総予算は190万円余りで、当町からは53万円の補助金が支出されています。

私も久しぶりの参加でしたが、地元上風連地区の出身者も十数名の参加があり、楽しい時間を持つことができました。今後多くの町民の参加により交流を深め、別海町の応援隊としてふるさと会の発展が望まれます。

(安部議員)

子育て支援策を研修

市民活動交流センター視察（7月3日 旭川市）

三常任委員会合同ア
カデミー事業に14名が
参加しました。

旭川市では子ども条
例を制定し、様々な支
援をしています。

子育てガイドブック
事業では、妊娠・出産・
施設・医療など子育て
に関する情報を子育て
世代に提供するため年
間1万部以上発行、配
布を行っています。

また、子育て支援人
材バンク事業では、子
育て支援に理解のある



現存する旧国鉄工場としては国内で最も古い建物
(旭川市民活動交流センターCoCoDe)

個人や団体の方を登録
し、育児サークル、子
育てサロンからの要請
に対して人材の派遣を
行っています。

平成25年度は、83名
が登録され、年間15
8件の利用、延べ41
8名が派遣され支援を
行っています。市民一
人ひとりが子ども達を
支えている取り組みは
大変参考になりました。

次に『旭川市市民活
動交流センターCoCo
De』を視察しまし
た。

旧国鉄の工場として
明治32年に建築された
2棟の煉瓦建物を平成
22年度約4億3千万円
で改修した施設です。
現在様々なイベント
に利用され、22年から25
年の3年間で約20万人
の方が利用しています。
運営は旭川NPOサポー

トセンターが指定管理
者となり行っています。
歴史的建造物を大事
にし、後世に残す取り
組みには感服しました。
当町も旧奥行臼駅通所
保存工事中であり、期
待するところです。

(松壽議員)

議会改革を学ぶ

全道町村議会議員研修会（7月4日 札幌市）

開催にあ
たり議長会
会長の萬議
長より、昨
今、地方議
員の言動が
注目されて
おり、十分
留意するこ
とが大切と
の話があり
ました。
また、道
州制は、町
村の意義を
否定するも
のであるた

め反対の意見
書の提出を求
めているなど
地方自治の近
況が報告され
ました。
研修では、
法政大学法学
部教授 広瀬克
哉氏が「議会
改革のこれか
ら」と題し講
演され、全国
で566の自
治体で議会基本条例が
制定されていることや、
国からの機関委任事務
制度を廃止したことで
自らも決定権が増加す
るとともに、責任も増
加することなどを話さ
れました。
また、読売新聞特別
編集委員の橋本五郎氏
が「これからの日本の
政治」と題し、今年4
月より消費税率が8%
になったが内閣の支持
率がそれ程下がない
理由について丁寧な説
明がされました。しか



住民に納得される議会の実現を（札幌コンベンションセンター）

し、秘密保護法や集団
的自衛権は説明のプロ
セスがないことや、早
急すぎることで、憲法解
釈を内閣が変更するこ
とは立憲主義に反する
などを踏まえ、政策の
実施には用意周到な準
備と説明が必要である
と話されました。

私たち地方の行政に
関わるものとして、多々
参考となり今後の活動
に活かしていきたいと
心に誓いました。

(森本議員)

各常任委員会の うごき

総務文教・福祉医療・産業建設の3常任委員会の平成26年第1回定例会終了後の活動について概要をお知らせします

総務文教常任委員会

担当部署 総務部
教育委員会

委員長 松原政勝
副委員長 沓澤昌廣
委員 中村忠士
委員 戸田憲悦
委員 木嶋悦寛

太陽光発電企業誘致

平成24年2月に東京に本社を置く太陽光発電のベンチャー企業から、太陽光発電施設の建設最適地となる町有地について照会がありました。

環境負荷の少ない太陽光発電施設は、まちづくりの観点からも意味深いものであると判断し、別海中央中学校の西側に位置する町有地の一部について、平成24年8月に賃貸借契約を結んでいます。しかし、計画が大幅に遅れており、今後の見通しがたない場合は契約を解除することも含め協議を行ったところ、6月を目途に着工したいとの申し入れがありました。

改めて新会社と賃貸借契約を取り交わすことで準備を進めている旨の報告を町側より受けました。

委員会として新会社との契約内容、工事の進捗状況などについて調査をしていきます。

旧光進小中学校 利活用推進

教育委員会では、平成24年2月に策定した「利活用基本構想」を

将来目標と位置づけ費用を必要最低限に抑えた試行的な利用を開始することとしました。利用に向けて次の事項に基づき進めていきます。

○体育館を含め校舎について「スポーツや研修施設」として利用できる体制を図る。

○26年度は体育館のみの利用を試行。
○宿泊施設については、校舎横の教員住宅を活用。

体育館を含め施設全体が閉校時の状態で放置されていることから使用できる状況なのか早急な調査が必要となっています。

当委員会は8月に状況について現地調査を行います。

福祉医療常任委員会

担当部署 福祉部
町立別海病院

委員長 小林敏之
副委員長 山田 信
委員 戸田博義
委員 森本一夫
委員 松壽孝雄

第3回福祉医療常任委員会は、4月16日3項目について所管事務調査を行いました。

後期高齢者医療の 保険料

平成26年度保険料の改定を行うことが、北

海道後期高齢医療広域連合議会で議決されました。

均等割は3763円増の5万1472円、所得割額は0・09%減の10・52%で1人あたりの保険料は1053円減の6万62

65円です。

1人当たりの保険料が減少する理由は、均等割の5割軽減が単身世帯にも該当するためです。(別表参照)

特定健診の受診状況

平成23年から25年までの受診率は40%以下でした。

対象者4300人のうち受診者は3月31日



旧光進小中学校 閉校後6年経過、新たな利用に向け具体的に検討しています

の時点で1658人で
す。
今後は健診後の保健
指導の向上が求められ
ています。

**新型インフルエンザ
等対策行動計画**

5月にパブリックコ
メントを実施しまし
たが1件もなく、別海
町新型インフルエンザ
等対策行動計画を北
海道へ提出すると報
告がありました。

別表

後期高齢者保険料算定 均等割計算式

- 2割軽減
(変更前) 基準額 33万円 + 35万円 × 被保険者数
(変更後) 基準額 33万円 + 40万円 × 被保険者数
- 5割軽減
(変更前) 基準額 33万円 + 24.5万円 × 世帯主以外の被保険者数
(変更後) 基準額 33万円 + 24.5万円 × 被保険者数

※個々により状況が変わりますので、詳細は町民課までお問い合わせください。



| | |
|------|------|
| 委員長 | 安部政博 |
| 副委員長 | 瀧川榮子 |
| 委員 | 安田輝男 |
| 委員 | 佐藤初雄 |
| 委員 | 西原 浩 |
| 委員 | 今西和雄 |

郊楽苑合意書締結

平成26年5月15日、
(株)郊楽苑は、本年10月
14日限りで、本件建物
(郊楽苑)を現状に復

した上で、別海町に明
け渡すとする合意書が
締結されました。
今後は、指定管理者
による管理運営に向け
てのスケジュールが立

郊楽苑指定管理に向けてのスケジュール表(予定)

- パブリックコメントを実施 【6/11~7/10】
- 条例の制定 【7/31・臨時議会】
- 指定管理選択委員会の開催 【8/1】
- 指定管理の公募 【8/4~9/3】
- 議会への報告 【9/中旬】
(9月定例議会時)
- 選定委員会開催 【9/24】
- 指定管理の指定議決 【10/8臨時議会】
- 指定管理に係る基本協定、年度協定契約の締結日 【10/15】
- 営業までの準備期間(休業期間) 【1か月~2か月】
- 営業開始予定 【平成26年12月1日】

てられ、計画にそつて
動き出します。
指定管理費の算出に
ついてはコンサルタン
トに依頼し、指定管理
者を決定する選定委員
会では第三者が入るこ
とになっていきます。
今後、建物の老朽化
で整備が必要な部分に
ついては、補修・保全
計画を立て、維持する
事が考えられています。

農業者年金に加入を

農業委員会では、各
委員が声掛けやPR活
動を行い、農業者年金
の加入促進活動を行っ

当委員会として、新
たな運営が住民の要望
を活かしたものとなる
よう、今後も注視し議
論を深めていきます。
(スケジュール表参照)

ています。
農業者年金の特徴は、
積立方式の年金で、自
分で掛けたものは必ず
年金として返ってきます。
また、若い時期から
長い期間、農業の担い
手として頑張る方には、
保険料の国庫補助があ
ります。
年金は死亡するまで
受給できます。
保険料は2万円から
6万7千円の範囲で自
由に選択でき、変更も
可能で脱退・再加入も
自由にできます。
農業委員会では、今
後も女性の加入促進の
強化などJAの協力を
制のもとに加入促進を
行います。
当委員会としても側
面からの協力をしたい
と考えています。
なお、平成24年度に
続き平成25年度も新規
加入者が全国1位に輝
いています。

農業の楽しさを知ってもらいたい

別海高等学校教諭 おおむら 大村 りゅうじ 竜二



食農教育活動を実践している酪農経営科園芸班の皆さん

私たち別海高校酪農経営科園芸班は3年生4名、2年生5名の計9名で構成され、別海中央小学校1〜3年生の有志児童とともに食農教育活動「ベジタベくる交流会」を行っています。

この交流会は小学生の好き嫌いをなくそう、農業の楽しさを知ってもらう、異世代交流をおしてコミュニケーション能力を育もうといった目的で、今年はピーマン、ナス、トマトなど6品目の野菜を育てながら学習を行っています。今年もすでに野菜苗の定植や葉物野菜の種をまき、成長するのを心待ちにしています。

収穫した野菜は別海町産業祭で販売するほか、交流会の最後には調理をしていただくことと計画しています。

一昨年は栽培したソバを使ってソバ打ちを行い、昨年は収穫した野菜を使ってアイスクリームを作りました。今年は何をつくらうか楽しみながら計画しています。

参加した小学生が将来高校生になって今度は指導する側になるくらい、この交流会が長く続くように内容の充実を図っていききたいと思います。

編集後記



冷夏の予想でしたが、比較的気温の安定した日が続きしのぎやすい夏の入りになりました。

今定例会で議員定数削減の方向性が示されました。

特別委員会で白熱した議論の結果です。

我が町が将来に向け、安定的に発展していくためにも、選ぶ側も、選ばれる側も共通認識のもとで臨むべきです。

今こそそのスタートの時、時間は刻々と進み、待ったなしです。
(今西委員)

べつかい議会だよりの表紙と裏表紙は、これまで「元気な子どもたち」「元気な高齢者」「はつらつスポーツ」「輝け学校」「協働のまちづくり」などを経て、現在は「志を受け継ぐ」をテーマにしています。

まちの歴史の中で、先人の志をどのように受けついでいるのかを、わかりやすくお伝えしたいと思っています。

基本を伝え、新たな技術も加わり受け継がれる志は、新鮮な驚きと発見があるのではないのでしょうか。
(瀧川委員)

携帯電話は車を止めて！シートベルト着用・スピードダウン